

平成 19 年 7 月 25 日

各 位

会 社 名 株式会社アイフィスジャパン
代表者名 代表取締役 大沢 和春
(コード番号：7833 東証マザーズ)
問合せ先 管理担当取締役 野口 祥吾
(TEL. 03-5275-6334)

平成 19 年 12 月期 中間期および通期業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向および平成 19 年 7 月 10 日に公表した株式会社キャピタル・アイの完全子会社化による影響を踏まえ、平成 19 年 5 月 1 日に公表した平成 19 年 12 月期中間期および通期業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 平成 19 年 12 月期 個別業績予想の修正

中間期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 6 月 30 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	1,290	170	98
今回修正予想 (B)	1,337	189	110
増減額 (B-A)	47	19	12
増減率 (%)	3.6	11.2	12.2
(ご参考)			
前中間期 (平成 18 年 6 月) 実績	1,137	162	85

通期 (平成 19 年 1 月 1 日～平成 19 年 12 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	2,900	470	272
今回修正予想 (B)	3,100	550	300
増減額 (B-A)	200	80	28
増減率 (%)	6.9	17.0	10.3
(ご参考)			
前期 (平成 18 年 12 月) 実績	2,429	407	233

2. 平成19年12月期 連結業績予想の修正

中間期（平成19年1月1日～平成19年6月30日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想 (A)	1,511	174	95
今回修正予想 (B)	1,561	128	35
増減額 (B-A)	50	△46	△60
増減率 (%)	3.2	△26.4	△63.2
(ご参考)			
前中間期（平成18年6月）実績	1,279	177	87

通期（平成19年1月1日～平成19年12月31日）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想 (A)	3,400	500	275
今回修正予想 (B)	3,650	450	200
増減額 (B-A)	250	△50	△75
増減率 (%)	7.4	△10.0	△27.3
(ご参考)			
前期（平成18年12月）実績	2,801	433	232

3. 修正の理由

平成19年12月期中間期につきましては、ドキュメント関連事業において証券市場および投資信託市場の活況を受け、証券調査レポートの発行本数の増加やセミナー資料の部数増加に加え、ドキュメントのカラー化などの影響により売上高、利益ともに増加いたしました。

その結果、当社単体の平成19年12月期中間期の業績は平成19年5月1日公表の予想に対し3.6%増の1,337百万円の売上高、11.2%増の189百万円の経常利益、12.2%増の110百万円の間純利益となり、同じく平成19年12月期通期では6.9%増の3,100百万円の売上高、17.0%増の550百万円の経常利益、10.3%増の300百万円の当期純利益となる見込みです。

しかしながら、当社グループ全体としましては、平成19年12月期より支配力基準で連結子会社となった株式会社キャピタル・アイは平成18年7月の設立であり、有料の情報提供サービスを開始しているものの、平成19年12月期の業績は売上高30百万円、経常損失135百万円、当期純損失134百万円の計画であります。

その結果、当社グループの平成19年12月期中間期の連結業績は平成19年5月1日公表の予想に対し3.2%増の1,561百万円の売上高、26.4%減の128百万円の経常利益、63.2%減の35百万円の間純利益となり、同じく平成19年12月期通期では7.4%増の3,650百万円の売上高、10.0%減の450百万円の経常利益、27.3%減の200百万円の当期純利益となる見込みです。

4. その他

上記業績予想の修正は現時点で入手可能な情報に基づいて作成しており、未監査であります。従いまして、平成 19 年 8 月 1 日に発表予定の中間期および平成 20 年 2 月ごろに発表予定の通期決算業績値と異なる場合がある旨ご留意願います。

以 上

【本件に関するお問い合わせ先】

株式会社アイフィスジャパン 経営管理グループ

IR 担当 松尾 TEL 03-5275-6334